

株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会 毎年5月
基準日 定時株主総会 毎年2月末日
期末配当金 毎年2月末日
中間配当金 毎年8月31日（中間配当を行う場合）
（その他必要がある場合はあらかじめ公告して定めた日）

単元株式数 1,000株

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777（通話料無料）

公告方法 電子公告（当社ホームページに掲載）
<http://ww2.maruyoshi-center.co.jp>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

上場取引所市場 東京証券取引所 市場第二部

（ご注意）

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

環境方針

1. 企業活動のなかで、資源の有効利用、省資源、省エネルギー、廃棄物の削減、環境に配慮した商品の提供に取り組んでいきます。
2. 環境に関する法規制および当社が受け入れを決めた要求事項を遵守します。
3. 環境保全のために必要な改善の継続と汚染の予防に努めます。
4. この方針は、文書化して全従業員に周知徹底し、実施・維持します。
5. この方針は、社内外全般に公表します。

マルヨシセンターホームページ



マルヨシセンターに関する情報は、
ホームページでご覧いただけます。

<http://ww2.maruyoshi-center.co.jp>



第57期 報告書

平成28年3月1日 ▶ 平成29年2月28日



Maruyoshi Super Report

MARUYOSHI CENTER

Top Message

地域の皆様の食生活を より豊かに、楽しく、便利にする ライフスタイル提案型 スーパーマーケットを目指します。



代表取締役社長 佐竹 克彦

株主の皆さまには、日頃より格別のご支援をたまわり、誠に有難く御礼申し上げます。

ここに、当社グループ第57期連結会計年度（平成28年3月1日から平成29年2月28日まで）の事業の概要と決算につきましてご報告申し上げます。

当連結会計年度（平成28年3月1日～平成29年2月28日）におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続いたものの、米国経済の動向や中国をはじめとする新興国の動向等、世界経済の不確実性により、景気の先行きは依然として不透明な状況となっております。

小売業界におきましては、労働需要の逼迫に加え人件費関連コストの増加、業種・業態を超えた企業間の競争の激化等、業界を取り巻く環境は引き続き厳しさを増しております。また、消費者の慎重な購買姿勢は依然として強く、加工食品や雑貨等のコモディティ型商品に対する価格志向はますます高まっております。

このような状況のもと、当社は、経営理念である「健

康とおいしさ」をキーワードに、当社独自商品や旬の素材を使ったお弁当・惣菜類の展開を更に強化し、料理提案など魅力ある提案型の売場作りに取り組んでおります。一方で、「家計応援」企画を導入することにより、高まりつつある節約志向に対応し、商圏内のシェア拡大を図っております。また、縮小する商圏や異業種間の競争に対応するため、店舗規模の縮小化を図り、地域や店舗の特性に合った商品を選択し集中的に品揃えすることで、競合他社との更なる差別化を進めております。その他の取り組みとして、自社製造商品の製造から販売までのリードタイムの短縮や生鮮センターでの取扱商品の拡大、比較見積りによる全体的な経費削減も継続して実施しております。

このような取り組みを総合的に実現すべく、平成28年7月に、これまでの品質重視と価格訴求を兼ねそなえたグランデリーズ太田店（香川県高松市）を、より競争力のある新たな中小型のモデル店舗として改装オープンいたしました。なお、平成28年3月には、滝宮店（香川県綾歌郡綾川町）を閉店いたしました。

このような取り組みの結果、当連結会計年度の営業収益は417億13百万円（前期比1.5%減）、営業利益は5億62百万円（前期比32.1%減）、経常利益は4億24百万円（前期比39.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は1億59百万円（前期は3億28百万円の純損失）となりました。

今後の見通しにつきましては、当社を取り巻く外部環境はなお厳しく、仕入原価の上昇、競合出店、個人消費の回復遅れ等の懸念材料もあり、引き続き予断を許さない状況であります。

当社は「健康とおいしさ」の経営理念に基づき、顧客にライフスタイル提案のできる店舗を構築するとともに、グランデリーズモデルの中小型店の開発を進めてまいります。

また、より迅速で確実な政策実現を目的に、経営と店舗と

が情報交換や意志の伝達をよりスムーズに行えるよう、組織のフラット化を行ってまいります。

さらに、今後は、当社のコンセプトである「健康とおいしさ」に「美容」を加え、食と美の切り口から消費者のニーズに応えることで、将来に向けて新たな市場の開拓を図ってまいります。

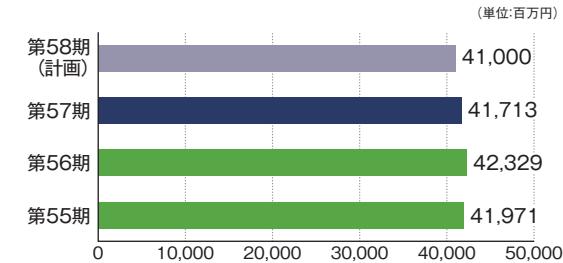
その他、消費者の食の安全や健康に対する関心に対応するため、自社製造商品の開発強化や品質にこだわった商品仕入等、価値ある商品の開発と提供も引き続き行ってまいります。

なお、省エネ投資、比較見積りを継続し、一層の経費削減にも取り組んでまいります。

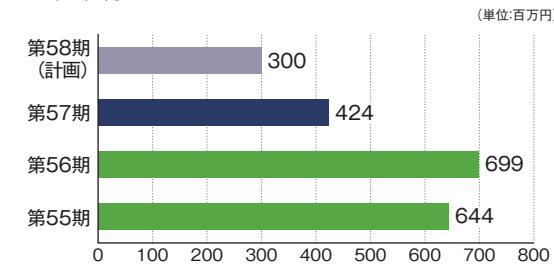
平成29年5月

財務ハイライト（連結）

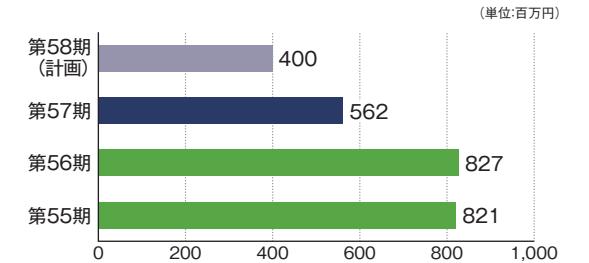
● 営業収益



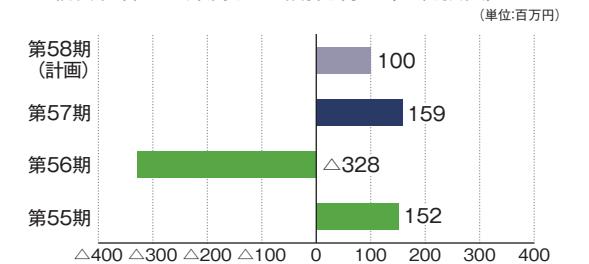
● 経常利益



● 営業利益



● 親会社株主に帰属する当期純利益 (△純損失)



地域の皆様に「健康とおいしさ」をより知っていただくために、多彩なイベントを行っています。

美活セミナーの開催

食事の観点から美活を学ぶセミナーを定期的に行っています。
料理研究者や商品開発者(メーカー様)など専門家を招いて、美容・健康に関するセミナーを実施。
調理実習も併せて体験いただいております。

● ● 大豆・ヨーグルトを使った腸内環境を整える料理教室・美活セミナー ● ●



大豆とイソフラボンについてのセミナーを開催。



6班に分かれて実習。



大豆・ヨーグルトを使ったメニューを調理。



ヨーグルトと乳酸菌についてのセミナーを実施。



笑顔にあふれた試食会。

● ● みそ・乳酸菌を使った腸にやさしい料理教室・美活セミナー ● ●



みそや乳酸菌についてのセミナーを実施。



みそ汁と乳酸菌飲料を試飲。



●みそ・乳酸菌を使ったかぼちゃのグラタン。
講演内容の食材を使ったメニュー提案。

「弁当の日」子供料理教室の実施

竹下和男先生による「食が人を育てる」食育の講演を開催。
講演後は「子どもを台所に立たせよう!」をテーマに、子供だけで作るお弁当料理教室も開きました。



竹下先生が小学校校長時に始めた「弁当の日」の体験などを講演いただきました。



子供だけで作ったお弁当は、親子で試食しました。お父さんに持って帰る子供も。



講演後の子供だけで作るお弁当教室。お母さんは見守るだけです。

地域のお客様により喜ばれる魅力のある店舗づくりを目指しています。

既存店活性化の取り組みとして、各店舗のマーケットを分析し、魅力ある売場に進化させています。
※これらの取り組みは、順次店舗ごとの状況に合わせて導入・展開しております。

青果

新鮮野菜の揃った
産直市



少人数世帯に便利な
カット野菜



こだわりのトマト
の品揃え



精肉

希少部位なども豊富に揃えた
「私だけの焼肉屋さん」



忙しい人のための時短メニュー
「ミートディッシュコーナー」



こだわりのオリジナルブランド
「伊予の元気豚」



海産物

こだわりの魚屋さんの寿司
「鮭処 魚よし」



紅鮭・明太子
もこだわりの品揃え



特に需要の高いまぐろを集めた
「まぐろ屋本舗」



デリー・グロサリー

こだわりのキムチを集めた
「旨辛 キムチ家」



人気のスイーツから地元の洋菓子屋さんまで
「スイーツセレクション」



地ビールから輸入ビールまで
こだわりのビールコーナー



惣菜

健康・美容志向メニューの
「彩食兼美」コーナー



人気のおつまみ商材を集めた
「創菜酒房」コーナー



忙しい人のための時短メニュー
「クイックディッシュ」



🔥 連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期末 (平成29年2月28日現在)	前期末 (平成28年2月29日現在)
資産の部		
流動資産	3,164,376	3,004,377
固定資産	14,792,873	15,272,480
有形固定資産	12,478,386	12,783,649
無形固定資産	445,315	441,412
投資その他の資産	1,869,171	2,047,418
繰延資産	2,284	4,807
資産合計	17,959,534	18,281,664
負債の部		
流動負債	7,983,109	8,611,421
固定負債	7,815,963	7,784,800
負債合計	15,799,073	16,396,221
純資産の部		
株主資本	2,052,732	1,893,323
資本金	1,077,998	1,077,998
資本剰余金	813,528	813,528
利益剰余金	675,688	516,279
自己株式	△ 514,482	△ 514,482
その他の包括利益累計額	3,306	△ 87,220
その他有価証券評価差額金	25,124	△ 55,159
退職給付に係る調整累計額	△ 21,817	△ 32,061
非支配株主持分	104,423	79,340
純資産合計	2,160,461	1,885,442
負債及び純資産合計	17,959,534	18,281,664

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

🔥 連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当期 (平成28年3月1日から 平成29年2月28日まで)	前期 (平成27年3月1日から 平成28年2月29日まで)
売上高	40,410,408	41,058,286
売上原価	30,652,678	30,940,258
売上総利益	9,757,729	10,118,027
その他営業収入	1,303,473	1,270,906
営業総利益	11,061,202	11,388,934
販売費及び一般管理費	10,499,023	10,561,269
営業利益	562,179	827,665
営業外収益	41,735	93,732
営業外費用	179,298	221,643
経常利益	424,616	699,753
特別利益	31,582	—
特別損失	61,508	863,962
税金等調整前当期純利益 (△純損失)	394,690	△ 164,208
法人税、住民税及び事業税	79,078	271,672
法人税等調整額	131,408	△ 125,446
法人税等合計	210,486	146,225
当期純利益 (△純損失)	184,203	△ 310,434
非支配株主に帰属する 当期純利益	24,794	18,415
親会社株主に帰属する 当期純利益 (△純損失)	159,409	△ 328,850

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

🔥 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当期 (平成28年3月1日から 平成29年2月28日まで)	前期 (平成27年3月1日から 平成28年2月29日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	87,702	△ 19,686
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 288,036	△ 203,370
財務活動によるキャッシュ・フロー	421,281	△ 481,213
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	220,946	△ 704,270
現金及び現金同等物の期首残高	828,405	1,532,676
現金及び現金同等物の期末残高	1,049,352	828,405

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

🔥 連結株主資本等変動計算書 (平成28年3月1日から平成29年2月28日まで)

(単位：千円)

科目	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,077,998	813,528	516,279	△ 514,482	1,893,323	△ 55,159	△ 32,061	△ 87,220	79,340	1,885,442
連結会計年度中の 変動額										
親会社株主に 帰属する 当期純利益			159,409		159,409					159,409
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の 変動額 (純損)						80,283	10,243	90,526	25,083	115,609
連結会計年度中の 変動額合計	—	—	159,409	—	159,409	80,283	10,243	90,526	25,083	275,019
当期末残高	1,077,998	813,528	675,688	△ 514,482	2,052,732	25,124	△ 21,817	3,306	104,423	2,160,461

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況

(平成29年2月28日現在)

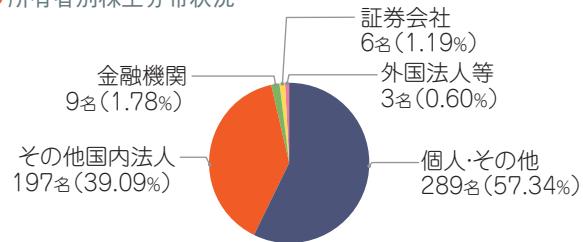
1) 発行可能株式総数	21,750,000株
2) 発行済株式の総数	8,749,990株
3) 株主数	504名

大株主(上位10名)

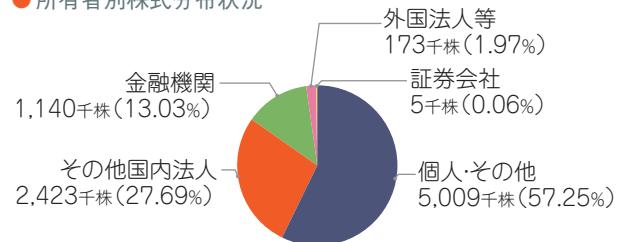
株主名	株式数(株)	出資比率(%)
佐竹 睦子	925,000	10.57
マルヨシセンター取引先持株会	743,000	8.49
有限会社 佐竹興産	499,000	5.70
株式会社 百十四銀行	379,000	4.33
株式会社 阿波銀行	379,000	4.33
マルヨシセンター従業員持株会	333,160	3.80
佐竹 克彦	257,000	2.93
黒田 泰弘	244,000	2.78
ロージー 美佳	170,000	1.94
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	150,000	1.71

(注)当社は自己株式1,160,550株を保有しておりますが、上記の大株主には含めておりません。

所有者別株主分布状況



所有者別株式分布状況



会社概要

(平成29年2月28日現在)

社名	株式会社マルヨシセンター
設立	昭和36年3月
本店の所在地	香川県高松市南新町4番地の6
資本金	1,077,998千円
事業内容	スーパーマーケットおよびレストラン
店舗数	スーパーマーケット37店舗 レストラン1店舗 コンビニエンスストア1店舗
従業員数	454名 (ほか、パートタイマー1,282名 [8時間換算])

取締役・監査役

(平成29年5月25日現在)

代表取締役社長	佐竹 克彦
取締役副社長	小比賀 吉男
取締役副社長	伊東 栄治
取締役副社長	加藤 宏道
取締役	小笠原 将仁
取締役	大下 秀樹
常任監査役	多田 好克
監査役	五十嵐 正昭
監査役	川東 祥次

(注) 大下秀樹は社外取締役、五十嵐正昭及び川東祥次は社外監査役であります。

会計監査人

(平成29年5月25日現在)

優成監査法人

香川県

スーパーマーケット店舗

- ・土庄店
- ・善通寺店
- ・内海店
- ・かたもと店
- ・池園店
- ・片原町店
- ・川東店
- ・三木店
- ・茜町店
- ・国分寺店
- ・観音寺店
- ・鶴市店
- ・高瀬店
- ・満濃店
- ・松縄店
- ・牟礼店
- ・香川町店
- ・太田店
- ・今里店
- ・木太店
- ・馬場病院店

レストラン店舗

- ・ミケイラ

コンビニエンスストア店舗

- ・ローソン黒淵店

徳島県

スーパーマーケット店舗

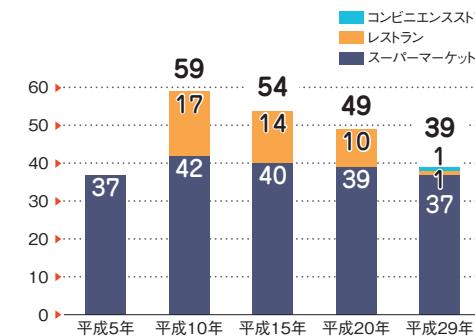
- ・渭北店
- ・城南店
- ・国府店
- ・八万店
- ・鴨島店
- ・阿波町店
- ・三加茂店

愛媛県

スーパーマーケット店舗

- ・新居浜店
- ・新居浜東店
- ・椿店
- ・伊予店
- ・余戸店
- ・山越店
- ・西条店

店舗数の推移



兵庫県

スーパーマーケット店舗

- ・西淡店
- ・洲本店

コンビニエンスストア店舗

レストラン店舗

スーパーマーケット店舗